

文書番号	NE - 210 - 16A
発行日	2016年4月30日

# エコアクション21 環境活動レポート



2016年4月版

レポート対象期間 2015年4月～2016年3月

ケミコン岩手株式会社 江釣子工場

# 目次

---

	ページ
1．組織の概要 .....	3
2．事業活動と環境への取り組みの流れ .....	3
3．環境方針 .....	4
4．環境目標及び実績とその評価 .....	5
5．環境活動計画及び取り組み結果とその評価 .....	7
6．次年度の取り組み内容 .....	9
7．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 .....	10
8．代表者による評価と見直し結果 .....	11

---



## 1 . 組織の概要

事業所名	ケミコン岩手株式会社 江釣子工場
代表者名	工場長 佐藤 義広
所在地	〒024 -0074 岩手県北上市滑田 20 地割 90 -4
環境管理責任者氏名	村上 幸雄
連絡先	担当者:同上 電話：0197 -77 -2471                      ファックス:0197 -77 -2475
e-mail	<a href="mailto:yukio@ned.chemi-con.co.jp">yukio@ned.chemi-con.co.jp</a>
資本金	6,500万円
従業員数	29名(2016年4月)
敷地面積	5,063㎡
生産数	4億58百万個(2015年度)
事業内容と製品 (認証・登録対象範囲)	電気・電子部品用アルミケース及びその他各種アルミニウムケースの製造
岩手工場 ISO14001 認証・登録対象範囲	アルミ電解コンデンサの設計、製造及びコンデンサーモジュールの製造、コア、コイル及びトランスの設計及び製造
和賀工場 ISO14001 認証・登録対象範囲	製品(アルミ電解コンデンサ用電極箔)、活動(製品製造のための化成処理業務とこれに付随した業務)及び関連するサービス

## 2 . 事業活動と環境への取り組みの流れ

1982年 4月	日栄電子株式会社設立
1982年 7月	操業開始
1998年 3月	第3工場建屋増床
1999年 3月	製品洗浄に使用していたテトラクロロエチレン使用全廃 (水系洗浄剤に代替)
2003年 8月	泰旺電子材料有限公司(無錫)へ資本参加
2005年11月	エコアクション21(EA21)環境経営システム構築開始
2005年12月	日本ケミコン(株)の100%子会社となる
2006年 2月	EA21環境経営システム運用開始
2006年 2月	ISO 9001システム構築開始
2006年 9月	EA21認証取得
2007年 1月	ISO 9001認証取得
2014年10月	グループ会社であったケミコン岩手株式会社と合併し江釣子工場となった。

### 3. 環境方針

当社は、環境方針を以下の通り定め、これに基づき行動します。

NE - 101 - 16A

#### 環境方針

ケミコン岩手株式会社 江釣子工場は、アルミ電解コンデンサ用アルミケースを製造していることをふまえ『日本ケミコン環境基本方針』に基づき環境保全活動に取り組んでいく。

さらに、当社が立地している、「水と緑豊かな文化・技術の交流都市」北上市の周辺環境に配慮すると共に環境経営システムを確立し、継続的に活動を推進する。

1. 当社の活動による環境影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を定め環境経営に取り組み、継続的改善および環境負荷の削減に取り組むとともに生物多様性に配慮する。環境方針・目標は毎年定期見直しを行うとともに必要に応じて改定を行う。
2. 環境関連の法規、条例および当社が同意したその他の要求事項を遵守する。
3. 環境の保全活動を推進させるため、組織を整備し、教育を行い全従業員が積極的に環境管理活動を展開する。
4. 当社の活動、製品、サービスに係わる環境影響及び社会的責任をふまえ、以下の項目を重点活動項目として取り組んでいく。
  - 省エネルギーの推進(CO<sub>2</sub>削減)
  - 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - 総排水量削減(節水)
  - 主要原材料の省資源化
  - 化学物質使用量の削減(PRTR 制度対象物質)
  - グリーン購入の拡大
  - 製品含有化学物質管理(製品及びサービスに関する環境配慮)
5. 環境負荷物質等の化学物質について、適正管理を行うとともに環境事故の未然防止に努める。
6. 内部環境監査を年間計画に基づいて実施し、活動を確認し、環境管理水準の維持向上に努める。
7. 環境方針は文書化し、全ての従業員に周知し、各人がその意義を理解して環境保全における責任を果たすものとする。

2016年 4月 25日  
ケミコン岩手株式会社 江釣子工場  
工場長 佐藤 義広

#### 4. 環境目標及び実績とその評価

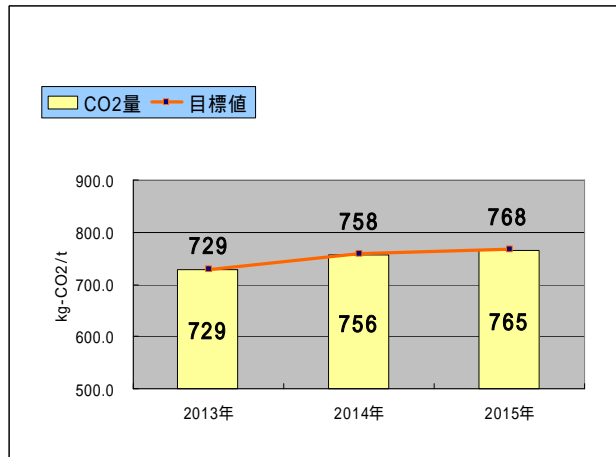
項目	目標		実績	評価
	2015年度	2015年度 ～ 2017年度	2015年度 '15/4～'16/3	
1)省エネルギーの推進 (CO <sub>2</sub> )削減 <b>kg-CO<sub>2</sub> / t</b> (生産量 1t あたり) (平成 26 年度 東北電力(株)電力係数 0.571kg-CO <sub>2</sub> /kWh を使用)	<b>768</b>  基準 2014 年度 756 に増加見込み 20 を追加し <b>1%削減</b>	<b>752</b>  基準 2014 年度 756 に増加見込み 20 を追加し <b>3%削減</b>	<b>765</b>  <b>1.4%の削減</b>	
2)主廃棄物の削減及び リサイクルの推進 <b>t / t</b> (生産量 1t あたり)	<b>0.0281</b>  基準 2014 年度 0.0282 を <b>0.5%削減</b>	<b>0.0278</b>  基準 2014 年度 0.0282 を <b>1.5%削減</b>	<b>0.0277</b>  <b>1.8%の削減</b>	
3)総排水量削減(節水) <b>m<sup>3</sup> / t</b> (生産量 1t あたり)	<b>2.99</b>  基準 2014 年度 2.94 に増加見込み 0.07 を追加し <b>0.5%削減</b>	<b>2.96</b>  基準 2014 年度 2.94 に増加見込み 0.07 を追加し <b>1.5%削減</b>	<b>2.96</b>  <b>1.7%の削減</b>	
4)主要原材料の 省資源化 <b>%</b> (歩留まり)	<b>91.47</b>  基準 2014 年度 91.37 を <b>0.1%アップ</b>	<b>91.67</b>  基準 2014 年度 91.37 を <b>0.3%アップ</b>	<b>91.57</b>  <b>0.2%アップ</b>	
5)化学物質使用量の 削減( PRTR 制度 対象物質 ) <b>kg / t</b> (生産量 1t あたり)	<b>2.234</b>  灯油に含まれる 対象物質 基準 2014 年度 2.257 を <b>1%削減</b>	<b>2.189</b>  灯油に含まれる 対象物質 基準 2014 年度 2.257 を <b>3%削減</b>	<b>2.122</b>  <b>6.0%の削減</b>	
6)グリーン購入の拡大	対象品 <b>8%拡大</b> (36品 39品)	対象品 <b>25%拡大</b> (36品 45品)	<b>8%拡大</b>	
7)製品及びサービス に関する環境配慮 (製品含有化学 物質管理)	(1)システム維持・ 向上の為の 教育・啓蒙。 <b>実施 100%</b>	-	<b>実施 100%</b>	
	(2)管理強化に よる製品含有 化学物質の <b>事故 0件</b>	-	<b>事故 0件</b>	

評価判定 …… 目標達成 ×…… 目標未達成

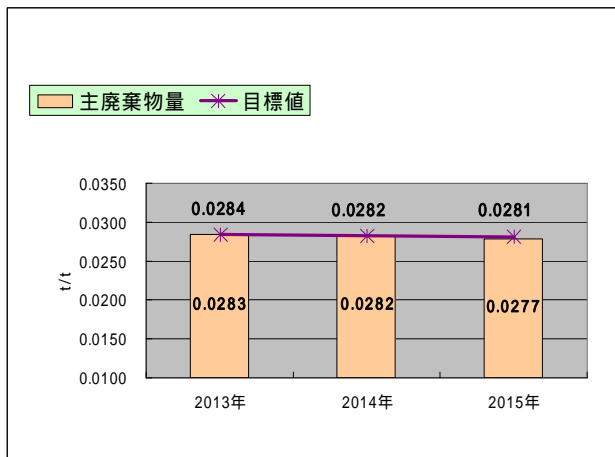
全ての項目で、目標を達成出来ました。

## 過去3年間の推移グラフ

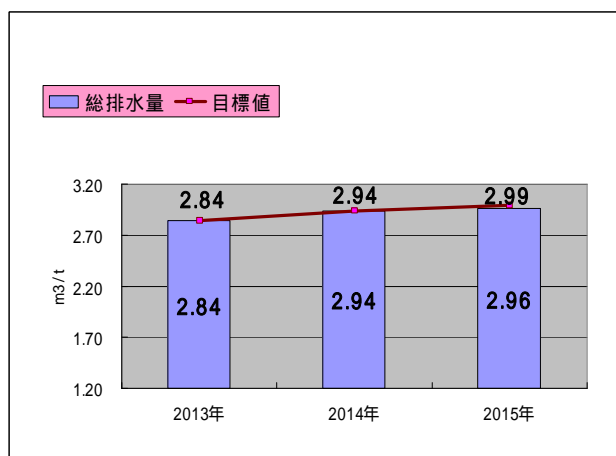
### 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub>) 削減



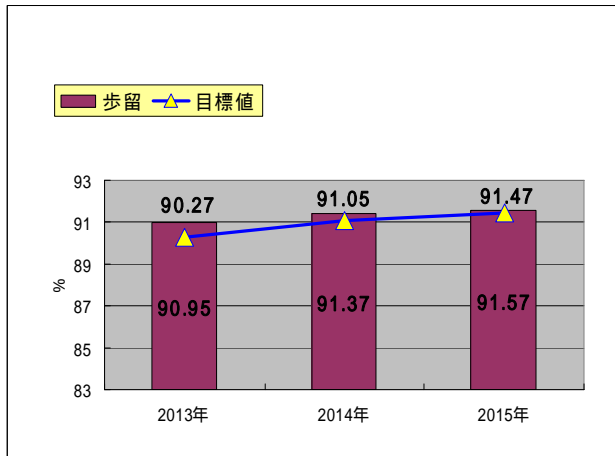
### 主要廃棄物の削減及びリサイクルの推進



### 総排水量削減



### 主要原材料の省資源化 (歩留まり)



2014年度及び2015年度のCO<sub>2</sub>量及び総排水量の増加は洗浄設備の増設によるもので、増加量を見込んだ目標設定とし取り組んだ。

各項目で目標を達成出来ているが、増量を上回る削減を目指す。

2015年度CO<sub>2</sub>総排出量は947,273(kg - CO<sub>2</sub>)であった。

## 5. 環境活動計画及び取り組み結果とその評価

項目	活動計画	取り組み結果	評価
1) 省エネルギーの推進 (CO <sub>2</sub> ) 削減	LED 照明の台数拡大により電力使用量の削減。	事務所など一部に LED 化をおこなった。	
	プレス機について、省エネタイプ部品への切替による電力使用量の削減。	部品交換を実施拡大中。5 台中 3 台交換を実施。	
	設備の巡回診断による、エアリークなど不具合の早期発見・是正による電力使用量の削減。	診断実施によりエアリーク箇所は是正を実施。	
2) 主廃棄物の削減及びリサイクルの推進	消耗部品の寿命改善による、消耗部品の廃棄を削減。	リレーについて耐久性の高いものに交換。5 台中 4 台交換を実施。	
	梱包資材廃棄量の削減	再使用及び木パレットのメーカー返却を実施	
3) 総排水量削減(節水)	節水の維持による水の無駄削減	使用量の監視を継続実施。	
4) 主要原材料の省資源化	材料歩留まりの向上 始掛かりの早期安定化による材料の削減。	金型ヒートアップについてプレス機予定 8 台中 5 台の拡大工事を実施。	
	仕掛かりの廃棄低減策立案・実施	金型ヒートアップ箇所の追加について調査実施。	
	品質対策による歩留まり向上 外観対策の立案・実施。	客先と調整し外観基準を決め運用中。	
5) 化学物質使用量の削減 (PRTR 制度対象物質)	灯油使用量の削減により対象物質の削減。	洗浄機アラーム発生時の警報設置場所を追加し、早い対応によるムダの削減を実施。	
6) グリーン購入の拡大	主に事務用品について拡大	グリーン商品の追加拡大を実施。	
7) 製品及びサービスに関する環境配慮 (製品含有化学物質管理を仕組み。)	製品含有化学物質管理システム維持向上の為に教育・啓蒙。	教育及び PC ネットワーク等を利用し、掲示による啓蒙を実施。	
	管理強化による製品含有化学物質事故ゼロ。	事故の発生は無かった。	
6) その他	教育並びに非常時を想定した訓練の実施。	計画通り実施することが出来た。	
	会社周辺道路の清掃作業によるボランティア活動。	計画通り実施することが出来た。	
	環境内部監査の実施。	計画通り実施することが出来た。	

評価判定      …… 目標達成      × …… 目標未達成

## 会社周辺道路の清掃作業風景



実施日：2015年6月17日（火）

内容：会社近郊の通勤に利用する道路の清掃活動（ゴミ・空き缶等の回収）

参加者：14名（就業者を除く参加率93%）

環境月間に併せ毎年続けている清掃作業を、今年も実施しました。

生産の都合により参加出来ない者もいましたが、参加者は終業後より作業を行い無事に終了する事が出来ました。ゴミの量は例年並でした。

## 生物多様性の保全活動

絶滅危惧種であるミナミメダカの保護に取り組んでいます。





## 6 . 次年度の取り組み内容

### 1) 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub>) 削減

一部実施している工場内 LED 照明の拡大により、電力使用量の削減を図る。  
プレス機について、省エネタイプ部品の拡大により電力の削減を図る。  
設備巡回診断による、エアリークなど不具合の早期発見・是正を図る。

### 2) 主廃棄物の削減及びリサイクルの推進

消耗部品の寿命改善により、廃プラスチック・鉄屑の廃棄物削減を図る。

### 3) 総排水量削減(節水)

水使用量の定期的な監視及び、ルールの遵守による節水の維持を図る。

### 4) 主要原材料の省資源化

材料歩留まり向上による、原材料の省資源化を図る。  
品質改善で製品廃棄の削減により、歩留まりを向上し原材料の省資源化を図る。

### 5) 化学物質使用量の削減 (PRTR 制度対象物質)

灯油使用量削減により、対象物質の削減を図る。

### 6) グリーン購入

グリーン対象商品 (主に事務用品) の拡大を図る。

### 7) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮 (製品含有化学物質管理により取り組む)

製品含有化学物質管理システム維持・向上の為に教育・啓蒙を図る。  
管理強化による製品含有化学物質事故ゼロ。

### 8) その他の取り組み

教育並びに非常時を想定した訓練の実施。  
会社周辺道路の清掃作業によるボランティア活動の実施。  
環境内部監査の実施。

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の2015年度における、環境関連の適用法令並びに遵守の状況の確認結果概要は以下の通りです。

関連法令	該当規制、対象施設等	必要なアクション等	遵守の状況
水質汚濁防止法 (自主管理)	排水水汚染状況の (pH、鉍物油 等)測定	1回/年外部測定	適合
騒音規制法 (自主管理)	敷地内の騒音測定	1回/年測定	適合
振動規制法 (自主管理)	敷地内の振動測定	1回/年測定	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	囲い、法定表示 等	適合
	産業廃棄物の適正処分 (運搬、処理の委託)	契約業者許可期限・範囲	適合
	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の管理	発行、B2、D、E票の照合、 返却日数、保管期限	適合
特定家電用機器再商品化法	管理票による製造業者等まで 確実な運搬の確保	排出時は「管理票」を受理	適合
フロン排出抑制法	適切な機器の管理	定期点検及び記録の保管	適合
毒物及び劇物取締法	劇物の適正管理	保管場所施錠 法定表示 等	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	選任、届出	適合
	作業主任者の選任	プレス機械作業主任 選任	適合
		乾燥設備作業主任 選任	適合
	特定化学物質等作業主任 選任	適合	
消防法	危険物貯蔵所の適正管理	届出量の遵守 表示 等	適合

上記の通り、法令について不適合はありません。

また、2015年度において、近隣、行政等の利害関係者より環境に関する苦情、訴訟等はありませんでした。

## 8 . 代表者による全体評価と見直しの結果

### インプット

- ・環境活動では、低炭素社会への貢献を目指した CO<sub>2</sub> 削減について目標を達成出来た。LED 照明及びプレス省エネ部品の拡大の余地がまだある。
- ・産業廃棄物の削減として、消耗部品を耐久性の高いものに変更を進めた。
- ・歩留まり改善として、主に品質的な改善を進め目標を達成した。  
立ち上げ時、早期安定化により廃棄品を削減させる為のプレス金型ヒート取付工事を進めた。金型ヒートについて取付箇所の追加が出来ないか検討の余地があった。
- ・環境内部監査では、設備導入時の手順の不備、記録類の登録漏れ、プラントの備品の不備など指摘がありルール化をおこなった。  
グループ会社であり EA21 を認証取得しているケミコン精機（株）殿と相互に環境内部監査へ参加した。
- ・環境関連法規についてフロン回収破壊法からフロン排出抑制法に改定され点検及び記録類の整備をおこなった。
- ・中間審査では、環境活動レポートに CO<sub>2</sub> 総排出量の明記及び、2014 年 10 月より合併したケミコン岩手（株）の他工場が取得している ISO14001 について認証範囲を明記する事を推奨された。

### アウトプット

- ・省エネルギーの改善は、引き続き低炭素社会への貢献を目指し削減を進める。  
拡大できる施策は実施する。
- ・主要原材料の削減は、引き続き本業のコストダウンに連動した改善でもある材料歩留まりの向上に取り組む。金型ヒートの取付け箇所の拡大について必要性を含め検討する。
- ・グループ会社で同じ EA21 を認証取得しているケミコン精機（株）殿との情報交換も引き続き進める。
- ・環境事故の予防に努め、合併による利点を生かし効率化を図っていく。